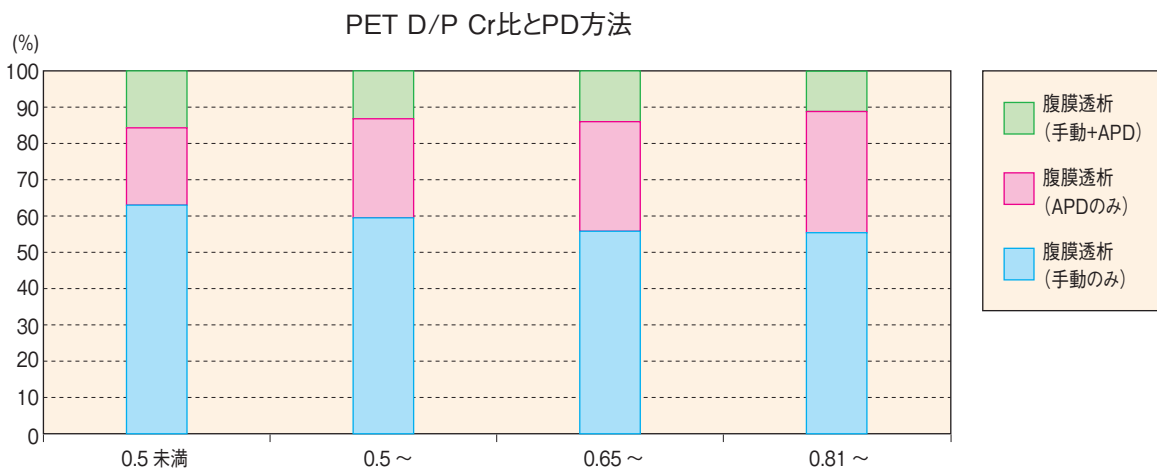
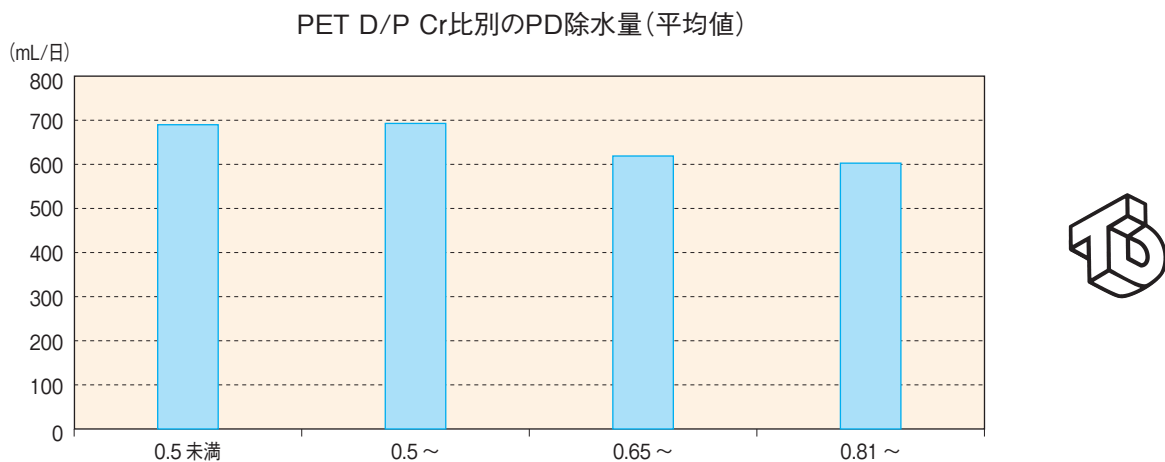


3) 腹膜透析調査

(4) 腹膜平衡試験 (PET) D/P Cr比とPD方法、PD除水量 (図表38)



PD方法	0.5未満	0.5~	0.65~	0.81~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
腹膜透析 (手動のみ) (%)	189 (63.0)	622 (59.5)	609 (55.8)	194 (55.4)	1,614 (57.9)	3,379 (58.0)	4,993 (58.0)	0.65	0.13
腹膜透析 (APDのみ) (%)	64 (21.3)	286 (27.3)	330 (30.2)	117 (33.4)	797 (28.6)	1,735 (29.8)	2,532 (29.4)	0.66	0.13
腹膜透析 (手動+APD) (%)	47 (15.7)	138 (13.2)	153 (14.0)	39 (11.1)	377 (13.5)	711 (12.2)	1,088 (12.6)	0.65	0.13
合計 (%)	300 (100.0)	1,046 (100.0)	1,092 (100.0)	350 (100.0)	2,788 (100.0)	5,825 (100.0)	8,613 (100.0)	0.65	0.13



PD除水量 (mL/日)	0.5未満	0.5~	0.65~	0.81~	合計	記載なし	総計
人数	277	963	1,020	329	2,589	1,549	4,138
平均	689.8	692.8	618.9	602.7	651.9	671.5	659.2
標準偏差	532.1	527.2	513.0	545.9	525.7	484.8	510.8

患者調査による集計

解説

PD方法に関する調査では8,613人の回答が得られた。手動バック交換のみを行うPD患者は4,993人(58.0%)、APDを使用した腹膜透析は3,620人(42.0%)であった。

PD方法とPET D/P Cr比を記載していたのは2,788人であり、腹膜透過性の亢進した患者群ほどAPDの割合は高かった。

一日PD除水量とPET D/P Cr比を記載していたのは2,589名であった。腹膜透過性の亢進した患者群ほどPD除水量は少なかった。